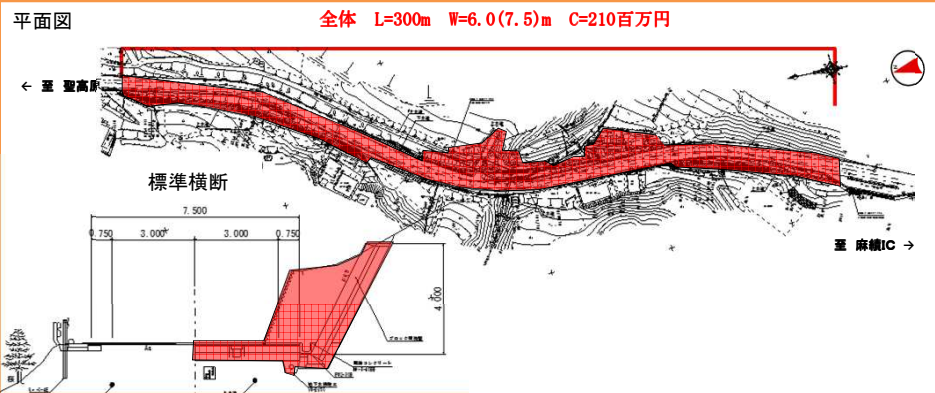


(様式2)新規評価シート

建設部 道路建設課

| | | | | | | |
|---------------------|---|--|------------|---|-------------|------|
| 事業名 | 県単道路改築事業 | | 路河川名等 | 国道403号 | | |
| 事業毎の通番 | 5 | 市町村名 | 麻績村 | 箇所名(ふりがな) | 梶浦(かじうら) | |
| 事業目的 | (国)403号は新潟県新潟市を起点とし、長野県北部から千曲市、麻績村、筑北村、安曇野市を経由し松本市に至る主要な幹線道路であり、筑北地域の観光地及び長野自動車道へのアクセス道路としても利用されている。 このうち、麻績村 梶浦地区は麻績ICから聖高原へのアクセス道路だが、幅員狭小でセンターラインが無い区間が存在し、円滑な走行に支障が生じている。また、長野自動車道麻績～安曇野間の通行止が生じた際の代替路となる路線でもある。 このため、幅員狭小、線形不良区間の解消を目的とした道路拡幅事業を実施し、車両及び歩行者の円滑で安全な通行を確保するものである。 | | | | | |
| しあわせ信州創造プランにおける位置付け | 5-2 快適で暮らしやすいまちづくり (暮らしを支える道路網の整備) | | 事業実施の根拠法令等 | 道路法 | | |
| 関連する事業、計画等 | なし | | | | | |
| 保全対象・範囲 受益対象・範囲 | 計画交通量：5,126台/日 | | | | | |
| 着手年度 | 平成29年度 | 事業期間 | 6年間 | 事業費(千円) | 財源内訳(千円) | |
| 完成年度(見込み) | 平成34年度 | 費用対効果 | 1.5 | 国庫 | その他 県債 一般財源 | |
| 全体事業内容(主な工種) | 道路拡幅工 L=300m、W=6.0(7.0)m | | | 210,000 | 210,000 | |
| 28年度事業内容(主な工種) | ・物件調査、用地補償、1式 | | | 15,000 | 15,000 | |
| 事業効果 | 直接的効果(定量的・定性的) | 走行時間・経費等の減少 緊急輸送路の整備 | | | | |
| | 間接的効果(定量的・定性的) | 産業支援による地域活性化 観光振興 | | | | |
| 評価の視点 | 必要性 | ○計画自動車交通量：5,126台/日 ○代替道路の有無：代替道路なし ○交通結節点アクセス：長野自動車道 麻績IC アクセス、バス路線 ○生活支援、観光支援：聖高原 | | | 評価 | A |
| | 重要性 | ○関連計画、重点施策との整合：なし ○緊急輸送路の路線指定：第1次緊急輸送路 ○地域指定：過疎及び積雪地域 | | | 評価 | C |
| | 効率性 | ○費用対効果(B/C)：1.54 ○事業期間：6年間(H29～H34) ○代替案の検討：ルート比較検討を実施 ○他事業との連携：なし | | | 評価 | B |
| | 緊急性 | ○近年の交通事故件数：H25：1件(車両相互) ○道路環境改善：局所的な渋滞の緩和 ○歩道整備：なし ○現況の幅員、半径、勾配：幅員5.0(6.0)m、曲線部拡幅量が不足(曲線半径 R=75m)。 | | | 評価 | B |
| | 計画熟度 | ○事業情報の共有：地区回覧などにより関係者を中心に周知 ○地域の取り組み：積極的な取り組みがある(国道403号(千曲安曇野間)道路整備促進期成同盟会) ○地域の合意形成：地元役員及び関係地権者の合意形成が図られている ○住民との協働：なし | | | 評価 | B |
| | 部意見 | 事業の必要性が高いため、平成29年度から事業化した。 | 行政改革課意見 | 現道は第一次緊急輸送路に指定されているが幅員が狭く、線形不良で、円滑な交通に支障をきたしていることから、必要性が高い。 | 評価結果 | 総合評価 |
| | | | | ○ | B | |

事業概要説明図表



事業周辺環境

| | |
|---------------------|--|
| ①事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景 | (国)403号は、長野県北部から千曲市、麻績村、筑北村、安曇野市を経由し松本市に至る主要な幹線道路であり、筑北地域の観光地及び長野自動車道へのアクセス道路としても利用されている。 このうち、麻績村 梶浦地区は麻績ICから聖高原へのアクセス道路だが、幅員狭小でセンターラインが無い区間が存在し、円滑な走行に支障が生じているため、幅員狭小区間の解消を目的とした道路拡幅が求められている。 |
| ②地域からの要望経緯及び地域の関わり | 本事業区間は、幅員狭小でセンターラインが無い区間が存在し、円滑な走行に支障が生じている。また、長野自動車道麻績～安曇野間の通行止が生じた際の代替路となる路線でもあるが、幅員狭小のため大型車のすれちがいができず、渋滞を招くことがあるため、車両及び歩行者の円滑で安全な通行の確保を要望されている。 |
| ③事業説明等の経緯 | H27.1 地区回覧などにより、地区役員、地権者及び地域住民へ周知。 |
| ④他事業・プロジェクトとの整合、関連 | なし |
| ⑤自然環境・生活環境への影響と配慮 | 家屋への影響を少なくした道路線形を検討し、生活環境へ配慮した計画とする。 |
| ⑥地域活性化への影響と配慮 | 本事業により交通の円滑化が図られ、安全な通行が確保されることにより周辺観光地の活性化も期待される。 |
| ⑦その他 | |

事業代表地点の緯度経度
北緯:N 36° 27' 57" 13
東経:E 138° 03' 14" 81